

2024年4月1日現在

東京大学経営協議会学外委員の選考理由

氏 名：小林 いずみ（こばやし いずみ）

現 職：ANAホールディングス株式会社社外取締役  
株式会社みずほフィナンシャルグループ社外取締役  
オムロン株式会社社外取締役

略 歴：1981年 3月 成蹊大学文学部 卒業  
1981年 4月 三菱化成工業株式会社（現 三菱ケミカル株式会社）入社  
1985年 6月 メリルリンチ・フューチャーズ・ジャパン株式会社 入社  
1988年 6月 メリルリンチ証券東京支店  
2001年12月 メリルリンチ日本証券株式会社 代表取締役社長  
2008年11月 世界銀行グループ・多数国間投資保証機関長官

経営協議会委員の在任年数：6年

本学との関係（総長、理事等、常勤教職員の経験）：該当なし

【選考理由】

小林 いずみ 氏は、メリルリンチ日本証券株式会社代表取締役社長としてグローバル金融サービス分野で同社の事業発展と顧客の事業開発に取り組み、多数国間投資機関（Multilateral Investment Guarantee Agency:MIGA）の長官としての経験も有している。2018年からは経営協議会学外委員として、本学の経営に関する重要事項について有益な助言を与えていただいている。さらには、2021年度東京大学「株主総会」の特別座談会に登壇し、『「社会的共通資本」としての東京大学の役割』というテーマのもと、大学の一番大きな価値は人をつくることとして、学問や対話などを通じて人をはぐくむことの重要性に理解と共感を示されるとともに、社会変革の大きな力となる資金循環という観点から、本学の経営に対する多くの示唆をいただいている。

以上のように、その経歴から、同氏が経営に関する専門的知見など高い識見を有し、大学法人の経営に広く社会の多様な意見を反映させられるよう意見を述べるとともに、必要な助言を与えられること、本学の理念と目標を共有し、「世界の公共性に奉仕する大学」を目指し、その実現に貢献できること、及び本学と社会のステークホルダーの双方向的な連携を推進し、互いに共通する公共的な利益を追求できるよう尽力する意思を有することが認められる。すなわち、「東京大学経営協議会の学外委員の選考方針等について（令和3年3月18日 役員会決定）」に定める選考方針各号に掲げる事項を全て満たしていると判断できる。